



山一ホーム設 新たな門出祝う

山一建設と山一ホーム（山野井信夫社長）は3月18日、新社屋（福生市加美平2-14）を同地で開き、関係者、来賓約70人が同社の新たな門出

を祝った。

同社は3月に30周年を迎えたことを機に、

ことで、店内がより明るい雰囲気になっています」と話していた。

敷地内（店舗内・駐車場等）の照明はすべてLEDを導入し、断熱やエコガラス、店舗

備も省エネ設計となっています。23台分を確保できる駐車スペースには、電気自動車用の充電スタンドを2機設置し環境保全にも配慮しました。

福生に新社屋完成

新社屋（写真）は鉄骨造2階建てで、敷地面積約1090平方㍍（約330坪）で、建物495平方㍍（約150坪）。1階部分にはディスプレイ設置テーブルや授乳室なども完備し、道路に面した壁部分にはエコガラスを使用し、広々とした空間となつた。

同社スタッフは「通りからも店内の様子が見え、初めてのお客さまも入りやすくなつて

新たな仕事見出す

山野井社長は記念パーティーの席上、30周年の節目に新社屋を披露してきたことに感謝を述べ、専務の優さん

常務の亮さんが兄弟で建設に携わったことを報告。「素晴らしいスタッフに恵まれ、息子たちを基点に、この新しい社屋から新しい仕事を見いだして、チャンスの場にしてほしい」と期待を込め「こ

れからはさまざまなかで難しい時代になつて

の繁栄なくして、下請けの繁栄なし。さらなる発展を期待」と激励した。

いく。皆さまのお力添えをいただきながら、明るく乗り越えていきたい」とあいさつした。

青梅信用金庫の平岡治房理事長、みずほ銀行の仙波陽平業務第三部長が祝辞を述べ、青梅トヨーホールディングスの町田五郎社長が工事関係者代表としてあいさつし「元請けの繁栄なくして、下請けの繁栄なし。さらなる発展を期待」と激励した。